

V Cooperation with Local Community(Annual Report (2nd semester, 2017・1st semester, 2018))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00026319">https://doi.org/10.14945/00026319</a>

## V 地域交流

案野 香子／袴田 麻里

平成29年9月より、静岡大学の理系大学院生3名が静岡市立高校において英語ティーチングアシスタントとして生徒の指導を開始した。

10月11日(水)、静岡県立浜松北高校国際科の生徒40名が授業の一環として来校し、留学生と英語で交流した。

10月15日(日)に、静岡県留学生支援ネットワークが国際交流バスツアーを実施し、静岡大学からは留学生、日本人学生合わせて40名ほどが参加した。

10月18日(水)に、静岡大学附属浜松小学校での英語での交流会に8名の留学生が参加し、小学生から英語で静岡県や浜松市の紹介を受けた。

10月25日(水)の静岡国際交流協会就職支援講座「静岡県の産業について（講師：伊藤ハム米久ホールディングス株式会社）」に全学教育科目留学生科目「日本語VI」の受講者ら6名が参加し県内企業について理解を深めた。

11月より、静岡聖光学院中学校・高校の英語クラスのTAとして、11名の留学生が毎週訪れ、プレゼンテーションや英語を通じた社会学習の支援を行った。

11月17日(金)から19日(日)まで、浜松キャンパスの留学生11名（インド6、韓国1、台湾1、トルコ1、ベトナム1、マレーシア1）が、浜松市内の10家庭でホームステイし、日本の生活様式や習慣、文化を体験した。

11月18日(土)から19日(日)まで、静岡キャンパスのインド人留学生が家族とともに袋井市内でホームステイし、日本の生活様式や習慣、文化を体験した。

12月9日(土)・10日(日)に焼津青少年の家で行われた「話っ、輪っ、和っ！」(主催：静岡県留学生等交流推進協議会)に留学生46名、日本人学生22名が参加し、他大学の学生と話し合いやゲーム、食事などをともにして交流を深めた。

12月16日(土)、ABP学部1年生が工学部学生後援会から留学生企画補助を受けて忘年会を企画し、日本人学生と留学生の交流を促した。

12月18日(月)、12月20日(水)に静岡大学附属浜松中学校3年生の英語授業に、バングラデシュ、インド、インドネシアなどの留学生15名ほどが参加し、中学生と日本や母国について英語で話し合った。

平成30年2月4日(日)に、NPO法人浜松日中文化交流会主催の春節パーティーが開催され、浜松キャンパスの中国人を中心に留学生や研究者、およびその家族約30名が招待され、ゲームや歌、楽器演奏などを通して、お互いの交流を深めた。

2月7日(水)に、全学教育科目「日本語IV」の受講生5名が、浜松国際交流協会と協力して、県内企業との交流会を企画した。3社の参加を得て、20名ほどの留学生が日本企業や留学生の雇用について話をうかがった。

5月19日(土)に、日本平において、富士山を眺めながら18名の留学生が茶摘みを行った。またお茶の葉の天ぷらもいただくことができ、全員初めての体験を満喫した。

6月6日(水)に、総合科学技術研究科工学専攻・情報学専攻1年の留学生を対象としたイン

ターンシップ説明会に協力した。その後、留学生は静岡国際経済振興会主催「外国人留学生企業交流会」で企業と面談した。

6月26日(火)に、付属浜松小学校の英語授業に2名の留学生が参加し、浜松市の見所や特徴的な事柄について発表を聞いた。

7月5日(木)に、付属浜松中学校の英語授業に4名の留学生が参加し、学校生活や将来について生徒と話し合い、英語、日本語で交流した。

7月14日(土)に、静岡鉄道株式会社主催の静岡市インバウンドおもてなしのためのモニターとして、留学生が25名、駿府城公園における着物の着付および茶道体験に参加した。